

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要 (都留市農村地区活性化計画)

計画主体名	計画期間
やまなしけん だいいほう 山梨県(代表) つるし 都留市	平成27年度～平成31年度

### <連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
山梨県 農政部 耕地課	055-223-1630	055-223-1624	<a href="mailto:kouchi@pref.yamanashi.lg.jp">kouchi@pref.yamanashi.lg.jp</a>
都留市役所 産業・建設部 産業観光課	0554-43-1111	0554-43-5049	<a href="mailto:nourin@city.tsuru.lg.jp">nourin@city.tsuru.lg.jp</a>

### 【記入要領】

計画主体名

- ・市町村名にはふりがなをふること
- ・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。
- ・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

計画期間

連絡先

メールアドレス

- ・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。
- ・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

## I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
2 交流人口の増加	1444%	計画区域への入込客数の増加(%)=2,050,000(計画期間内(H27~H31)の計画区域への目標入込み客数(人))÷132,760(計画期間前(H22~H26)計画区域への入込み客数(現状))×100-100

### 事業活用活性化計画目標の設定根拠

計画期間前H22~H26年度の入込客数(現況) 132,760人 (当該地域における既存施設の入込客数の実績値により算定)

計画期間内H27~H31年度の入込客数(目標) 2,050,000人 (当該地域における既存施設の入込客数の実績値及び新たに整備する施設の利用者の見込み人数)

入込客数	農林産物直売所 (既存)	農林産物直売所 (新規)	農家レストラン (新規)	計
H22年度	24,988			24,988
H23年度	23,755			23,755
H24年度	25,260			25,260
H25年度	30,405			30,405
H26年度	28,352			28,352
計画期間計	132,760	0	0	132,760
H27年度	26,000	0	0	26,000 <sup>※1</sup>
H28年度	26,000	234,000	24,000	284,000 <sup>※2</sup>
H29年度	26,000	450,000	48,000	524,000 <sup>※3</sup>
H30年度	26,000	500,000	54,000	580,000 <sup>※4</sup>
H31年度	26,000	550,000	60,000	636,000
計画期間計	130,000	1,734,000	186,000	2,050,000

※1 H27年度は事業実施期間中のため、新たに整備する農林産物直売所と、農家レストランの客数を見込まない。

※2 平成2年に1,602戸あった本市の販売・自給農家数は、平成22年には1,083戸に減少し(農林業センサスより)、また農家の高齢化などから農産物の購入は市内スーパーなどに依存している。直売所オープン28年は、週5回の買い物回数のうち1回を直売所に訪れる客数のうち(「農産物直売所の業態としての特徴」(一)農業経営支援センター)建設初年度は、7割の来場者と想定する。(7ヶ月)

※3 平成29年には、春野菜からの商品仕入れとともに、早生の農作物の生産や、生産量が少なかった在来種による農産物の増など、特色ある商品を開発することにより前年比約1割増を想定する。

※4 平成30年には、富士湧水ポークなどの加工品開発によるブランド化による6次産業化の推進により、前年比約1割増を想定する。

### ・計画目標の設定について

#### 農林産物直売所(新規) 55万人

##### ①リニア見学センターからの回遊客人口

20万人の1/4=5万人

(※山梨県の過去の山梨県観光入込客統計調査報告書によると過去4年間の平均訪問観光地点数の過去5年間の平均=1.5のため来訪者のうち半数が別の地点に立ち寄りと考えられる。また、過去5年間平均の、平均同行者数は4.375人でうち67.55%が家族連れで、32.45%は家族連れ以外。家族連れ以外は全員が買い物し(4.375人×32.45%=1.41人)、家族連れはうち一人が買い物をする人の割合を計算。(1.41人+1人)/4.375人=0.5=1/2。よってリニア来訪者の1/2が本直売所に立ち寄り、うち1/2が買い物をすると考えられるので、1/2×1/2=1/4)

##### ②市内及び大月市からの来場者

30,000人×1/3×50回=50万人

(※商圏人口30,000人、競合するスーパーマーケットは2軒のため1/3、主婦が日常買い物に行く回数は、週に4.59回=5回である(「農産物直売所の業態としての特徴」(一)農業経営支援センター)。また週4.59回の買い物のうち、直売所に行く回数は週に1回といった傾向がみられる(「農産物直売所の業態としての特徴」(一)農業経営支援センター)。そのため、年間の直売所への来訪回数は50回と想定する。)

#### 農家レストラン(新規) 6万人(11,111人+51,111人=60,000人)

##### ①リニア見学センターからの回遊客人口

50,000人×4/9×1/2=11,111人

(飲食される時間帯は施設の営業時間午前8時~午後5時までの9時間のうち、午前11時~午後2時までの3時間と午後4時~午後5時までの1時間で4時間。上記のとおり、来訪者の半数が別の地点に立ち寄りと考えられるため、1/2が飲食すると想定される。)

##### ②市内及び大月市からの来場者

500,000人×4/9×23/100=51,111人

(上記のとおり、飲食される時間帯は9時間のうち4時間。また、市内及び大月市の来場者は来場したうち休日のみ飲食すると想定。労働基準法による年間の最低休日日数は、85日であるため85/365=0.23)

## II 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
地域連携販売力強化施設	都留市農村地区	・農林産物直売所・食材提供施設 ・附帯施設(駐車場、外構) ・備品(業務用冷蔵庫・厨房機器等)	・1棟 980㎡ (鉄骨造) ・一式 ・一式	H27～H28	都留市	370,000	185,000	1/2	185,000	リニア見学センターの近隣に農林産物等を核とした直売施設及び食材提供施設を整備することで、農家所得の向上を図りながら農業振興並びに地域産業の活性化を目指すことで、今以上の交流人口の増加に繋がる。
合 計						370,000	185,000	1/2	185,000	

(別添)

# 融資主体型支援助成対象者調書

〇〇地区活性化計画 (〇〇県〇〇市町村)

NO	助成対象者名	住 所	代表者名

## 1 助成対象者の概要

1 農林漁業者等の組織する団体  
 ①農業生産法人                      ②農事組合法人                      ③その他  
 2 参入法人

(注) 該当する経営体の□にチェックを入れること。

## 2 整備内容等

NO	整備内容 (機械施設名、規模、台数等)	実施 年度	着工(契約) 予定年月日	竣工予定年月日	農業機械の保管住所、施設の設置住所
1					
2					
3					

## 3 資金調達計画

NO	事業費(円) A	資金調達計画(円)				助成率 (%) B/A	融資率 (%) C/A	担 保 措置の 有 無	備 考 (助成限度率等)
		助 成 金 B	融 資 C	自己資金	その他				
1									
2									
3									
計									

(注) 整備施設を融資のための担保に供する場合は、□にチェックを入れること。

## 4 追加的信用供与支援の活用計画

項 目	資金調達のうち融資の概要	
	融 資 ①	融 資 ②
金 融 機 関 名		
融 資 名		
融資金額(円)		
償 還 年 数		
融資審査の進捗状況	借入予定 平成 年 月 日	借入予定 平成 年 月 日
農業信用基金協会による機関保証の利用	追加的信用供与支援の活用を希望する 追加的信用供与支援の活用を希望しない	追加的信用供与支援の活用を希望する 追加的信用供与支援の活用を希望しない

(注) いずれかの□にチェックを入れること。なお、機関保証利用の有無については、融資機関及び農業信用基金協会の審査によって希望に添えない場合があることに留意すること。

### Ⅲ 優先枠等を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

#### 1 生産製造連携事業計画優先枠

優先枠の種類	事業メニュー名	地区名	優先枠に係る事業内容
1 生産製造連携事業計画優先枠			

#### 2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠

優先枠の種類	地区名	優先枠に係る事業内容
2 再生可能エネルギー供給施設整備優先枠		

#### 3 輸出促進条件整備事業

優先事項の種類	事業メニュー名	地区名	優先事項に係る事業内容
3 輸出促進条件整備事業			



